

田原小だより



第678号

令和4年1月11日

台東区立田原小学校

校長 佐藤 貴生

新しい年を迎えて

校長 佐藤 貴生

新年 あけましておめでとうございます。

保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、健やかな新年をお迎えされたことと存じます。今年のお正月は家族や親戚が集まり、おせちを食べながら、会えなかったこの2年間についての話をすることができた家庭も多かったのではないのでしょうか。

今年の干支は、寅年です。「寅」はもともと「演」が由来といわれ「人の前に立つ」、演と同じ読み「延（えん）」から「延ばす・成長する」という意味をもっています。壬寅（みずのえとら）には、「新しく立ち上がる」と「生まれたものが成長すること」といった縁起のよさを表しているといえるそうです。2021年は前年から続いて、新型コロナウイルスの感染拡大が、学校生活そして日々の生活にも大きな影響を与えました。2022年は、ぜひ「成長」や「始まり」の良い一年にしたいです。お正月からオミクロン株の感染者も増えていますが、3学期も田原小学校では、コロナ禍であっても子供たちが学校生活において積極的に仲間と協力して、目標の達成を目指す活動や、自分自身の進歩・成長を実感できる場の工夫に努めていきます。

今年度は、創立110周年の記念の年ということで、保護者・地域の皆様にはたくさんのお力をお借りしています。昨年11月20日には、縮小しながらも無事に記念式典を挙げる事ができました。式典でのアトラクションでは、録画によるものでしたが、6年生の呼びかけ、田原バンド・フラッグ隊の演奏・演技、そして全校児童による校歌斉唱を映し、とてもすばらしかったと来賓の皆様からお褒めの言葉もいただきました。コロナ禍でも子供たちの成長ぶりをうれしく思うとともに、田原小学校がこうしてあるのも、支えてくださる皆様のおかげであると痛感した一日でした。本当に地域・保護者・関係の皆様のご支援・ご協力に感謝申し上げます。

さて、1月27日（木）から29日（土）は、「～個性豊かな色と形、芸術でそめようよ～」をテーマに、創立110周年記念展覧会を実施します。共同作品として、「一人一人の染物」、ロング集会で1年生から6年生でのなかよし班で協力して作成した「花火」や「虹色カーテン」を展示します。互いに認め合い、高め合いながらそれぞれの課題を解決していく「協働作品」になるものと思います。併せて書き初め展も開催いたします。多くの皆様にご来場いただき、子供たちの「渾身の作」を鑑賞していただきたくご案内申し上げます。

また2月4日から20日までの17日間、北京冬季オリンピックが開催されます。冬の大会では最も多い109種目が実施されることになっています。昨年夏 TOKYO2020 オリンピックでは、様々な国の選手から、勇気と感動そしてスポーツのすばらしさをたくさん見せてもらいました。北京で輝く選手たちに子供たちと一緒に熱い声援をおくりたいと思います。

本年も田原小学校の教職員一同は「チーム田原」として力を合わせ、子供たち一人一人を大切に見つめながら、保護者や地域の皆様の信託に応えられるよう教育活動を推進してまいります。引き続きご支援・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

生活指導部より

生活指導部 高橋 浩之

12月の生活目標は『清潔な生活を心がけよう』でした。田原っ子たちは引き続き、病気の予防のために、手洗いをしっかり行う姿が見られました。また、『持ち物を整理しておこう』や『教室を隅々まできれいにしよう』という週目標を立て学校全体で整美活動に取り組みました。すすんでゴミを拾ったり、机やロッカーの中を整理したりする児童も見られました。

1月の生活目標は『気持ちのよいあいさつと返事をしよう』です。今年からあいさつのことだけでなく、返事をすることも目標に加えました。相手の呼びかけに対して返事することは、コミュニケーションの基礎であり、大切なことです。返事には、『相手の話を聞いていますよと伝える意味』と『言われたことに対してしっかり行動しますよと伝える意味』があるということを見習うように子供たちに伝え、目標が達成できるよう指導していきたくと思います。